

# カンボジアの文化、そして仏教を語る



## SVA カンボジア事務所イー・トン副所長 講演会

「今の時代だからこそ、カンボジアの僧侶は学ぶ場が必要なのです」こう語るのはカンボジア事務所副所長のイー・トンさん。ポルポト時代を生き延び、カンボジアの文化そして仏教に精通するイー・トンさんが、この度（9月）、日本に來日し、立正佼成会一食平和基金とシャンティ国際ボランティア会が共同で行う、「カンボジア仏教・文化復興事業」について、また、現在のカンボジア仏教事情と仏教的平和について語っていただきます。

**日時: 2010年 9月15日(水) 15:00~17:00(質疑応答を含め)**

**場所: 立正佼成会 大聖ホール / <<入場料無料 >>/講演通訳: 野田真里先生(中部大学准教授)**

**住所: 〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号(チラシ裏地図を参照ください)**

**アクセス : 地下鉄丸の内線「中野富士見町」から徒歩10分/ 地下鉄丸の内線「方南町」から徒歩7分**

京王バス「佼成会聖堂前」徒歩1分/ 都営バス「和田堀橋」または「堀ノ内2丁目」から徒歩3分

**URL [http://www.kosei-kai.or.jp/090access/post\\_18.html](http://www.kosei-kai.or.jp/090access/post_18.html)**

**お問い合わせ先・お申込み/ 立正佼成会 社会貢献グループ TEL: 03-5341-1034**

**社団法人シャンティ国際ボランティア会 TEL: 03-5360-1233**



イー・トン氏略歴 (YI THON) / 1993-1997年カンボジア宗教省顧問。南伝大蔵経復刻事業に関わる。1998年シャンティ国際ボランティア会伝統文化事業部顧問就任。2002年WCRP(世界宗教者平和会議)カンボジアを設立し、カンボジア諸宗教平和会議事務局長代行を務める。2006年SVA シャンティ国際ボランティア会副所長就任(伝統文化事業アドバイザー兼任)、現在に至る。



カンボジア人は 96.93%が仏教徒。カンボジアの人々にとって、仏教行事とその教えは生活に密着し、寺院は人々の心のより所、僧侶は心の師となっています。しかし、僧侶の多くが内戦により殺害され、寺院が破壊され、教えが否定された時代もあったのです。

内戦終結後、クメール仏教の復興が行われてきましたが、若い僧侶へ仏教の教えに基づいた倫理教育、環境教育、そして、寺院経営に関して教える年配の僧侶が少なく、経験を共有できる場、僧侶が学べる場も限られているのが現状です。物と情報が多量に流れ込む今のカンボジアでは、人々が寺院、そして僧侶に求めるものも多様化しているように思います。その想いをくみ取り、心に寄り添える僧侶であるためには、豊富な知識も必要だとイー・トンさんは語ります。是非、この機会に、カンボジアの仏教や伝統文化の「今」に触れてみませんか？カンボジアの多くの歴史と共に歩んできたイー・トン副所長さんが、皆さんの来場をお待ちしています。

【当日の講演通訳者：野田真里先生（中部大学国際関係学部准教授）です】

《当日会場案内地図 会場までのアクセス方法》



※ この講演会は 立正佼成会一食平和基金 と 社団法人シャンティ国際ボランティア会の共催事業です。

